

## まあ仕方のないことかあ

朝食を食べて、しばらく、テレビなどで時間を過ごし、一時過ぎ、家を出る。

今日は、琵琶湖畔、比良の自炊生活の準備の話で、友達の岩井の家へ行く日だ。

制服着て行こうと思った。

でも、暑い。

私服のまま、傘を持って行く。

四条京阪で電車を降りて、祇園の方へ歩いた。

岩井は「安井の病院」と言っていた。

そんな病院は探してもなかった。

そのかわり、「岩井外科」と

看板かけた病院がある。

「ここだなあ。」と思って

入ったが、普通の病院。

しばらく、中をじろじろ見ていたら、若い見習いの様な看護婦さんが来た。

白衣姿で、かわいいので、見とれてると、患者さんと間違えられて、声かけられた。

「さあ、どうぞ、奥へ。」

やさしい、なれなれしい声だ。

当惑して、顔を見るだけで、僕は、どう答えたらいいかわからなかった。